

施策評価シート【重点施策】

個別施策 - (2)

犯罪や消費者被害を防止する

基本的な方向性

地域住民が主体となった組織の取組を支援し、防犯意識を高めるとともに、犯罪が起きにくい地域づくりを進めます。また、消費生活に関する情報を提供し、消費者被害の未然防止を図るとともに、消費者トラブルの救済に向けた取組を進めます。さらに、市民の体感治安の向上に向けて、防犯活動や平塚駅周辺の環境浄化活動を関係団体等と連携して進めるとともに、本市の安心・安全に関するイメージの向上に向けて、効果的な情報発信に取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	実績値					5年度 目標値
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度	5年度	
市と関係団体による防犯活動数【年間】	回	40	25	25			42
消費生活相談において消費者自らが相手方と交渉できるよう助言した件数の割合	%	89	87	88			85

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

「防犯対策・体感治安の向上」

平塚警察署及び関係団体と連携した防犯活動を実施し、平塚警察署と締結した協定に基づき大型商業施設に警報機付き自転車を設置しました。刑法犯認知件数は、前年比で180件（18.9%）の増加となりました。増加理由は、新型コロナウイルス感染症による外出自粛要請により、前年の件数が大幅に減少していたためです。しかし、自転車盗に限った場合、警報機付き自転車の設置効果により、前年に比べ52件減少しました。

「防犯設備の整備」

防犯街路灯の移設や新規設置、防犯カメラの維持管理及び自治会等に対する防犯カメラの設置補助（10台分）等を行うことで、地域における防犯設備の整備・充実を図りました。

「消費者被害の未然防止と救済」

出前講座等や関係機関との連携及び対面の減少の対応としてツイッターでの注意喚起情報の継続的な発信など啓発活動を行い、消費者被害の未然防止を図りました。

また、2,527件の消費生活相談を行い消費者トラブルの救済を行いました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>「防犯対策・体感治安の向上」 刑法犯認知件数の減少に向けた対策が必要です。</p> <p>「防犯設備の整備」 体感治安の向上に向け、防犯街路灯の移設や新規設置、防犯カメラの適切な維持管理が必要となります。</p> <p>「消費者被害の未然防止と救済」 デジタル化の進展など「新しい生活様式」に合わせ、知識や判断力が不足しがちな若年者・高齢者はもとより、見守り世代への啓発の強化が必要です。</p>	<p>「防犯対策・体感治安の向上」 件数の多い自転車盗の減少のため、警察と連携し、警報機付き自転車等を活用した犯罪抑止の取組を進めます。</p> <p>「防犯設備の整備」 防犯街路灯の維持管理及び地域住民の要望等による移設や新規設置を行います。市設置の防犯カメラの維持管理、自治会等への設置補助を行います。また、警察や市内事業者と連携し、防犯カメラ付き自動販売機の導入を検討します。</p> <p>「消費者被害の未然防止と救済」 デジタル化の進展、成年年齢引下げ、従来からの高齢者の被害などに対応するため、引き続きSNSの活用に加え、デジタル広告など見守り世代への効果的な啓発をより進めます。</p>
関連する【取組】と（事業）	
<p>【防犯活動・防犯設備の充実や体感治安向上の推進】（防犯対策・治安向上推進事業）（防犯設備整備事業）</p> <p>【安心・安全な消費生活の支援】（安全で豊かな消費生活推進事業）</p>	